

平成25年行政事業レビューシート（金融庁）									
事業名	リスク計測参照モデル関係等経費			担当部局庁	検査局		作成責任者		
事業開始・終了（予定）年度	平成12年度～			担当課室	総務課		小原 広之		
会計区分	一般会計			政策・施策名	政策Ⅰ… 経済成長の礎となる金融システムの安定 施策1… 金融機関の健全性を確保するための制度・環境整備				
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	銀行法第25条、保険業法第129条等			関係する計画、 通知等	平成24検査事務年度 検査基本方針、検査基本計画 「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	金融機関の業務の健全性及び適切性の確保を目的として、金融検査において、金融機関のリスク管理が適切なものかどうかの検証を効率的・効果的に実施すること。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）	毎検査事務年度に作成、公表される検査基本方針及び検査基本計画に基づき、金融機関を取り巻く内外の経済・金融環境の変化に留意しつつ、金融機関による適切なリスク管理態勢の整備及び円滑な金融仲介機能の発揮に資するよう、金融実態に応じた的確な金融検査を実施する。 ○被検査金融機関の信用リスク及び市場リスクに関するデータをもとに、当局でもリスク量を計測、比較し、当該金融機関のリスク計測モデルの特性（限界、弱点等）を明確にすることにより、深度ある検査を実施。 リスク計測参照モデル関係経費は、当局でリスク量を計測、比較するためのシステムの運用・保守に必要な経費である。 ○金融検査手法向上経費は、金融検査マニュアル等のパンフレット類の作成や翻訳に使用する経費である。								
実施方法	■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 （単位：百万円）			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	29	28	24	26	29		
		補正予算	▲0	－	－	－			
		繰越し等	－	－	－	－			
	計		28	28	24	26	29		
	執行額		24	27	23				
執行率（％）		86.3%	94.7%	92.9%					
成果目標及び成果実績 （アウトカム）	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 （年度）
	オフサイト検査モニター（※）のアンケート結果（4段階評価）のうち「1（最も評価が高い）」または「2（次に評価が高い）」と回答された割合			成果実績	％	98.6	98.1	98.6	
	※被検査金融機関から、検査の実施状況などについて意見を受け付ける制度。			達成度	％				
活動指標及び活動実績 （アウトプット）	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	主要行等の健全性指標（自己資本比率）			活動実績 （当初見込み）	％	17.3 （ ）	17.9 （ ）	17.5 （ ）	— （ ）
単位当たりコスト	— （円／ ）			算出根拠	—				
平成25・26年度予算内訳	費 目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	情報処理業務庁費	23	23	○ 「日本再興戦略」を踏まえた、金融検査マニュアル等の翻訳経費の増。 （諸謝金：+3百万円）					
	諸謝金	3	6						
計	26	29							

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	○リスク計測参照モデル関係経費は、金融機関における業務の健全性及び適切性確保を目的とする事業に充てられており、当該事業は、優先度の高い、国が実施すべきものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	○金融検査手法向上経費は、中小企業等の資金調達等に役立ててもらうための金融検査に関するパンフレット類の作成等に充てられており、当該事業は、広く国民のニーズがあるものである。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	○リスク計測参照モデル関係経費は、公募の実施により、競争性が確保されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－	○金融検査手法向上経費は、入札の実施により、競争性が確保されている。また、必要性を勘案の上、経費を使用する事案を絞り込むことにより、経費の節減を図っている(24年度は金融検査評定制度及び保険検査評定制度の翻訳のみを実施)。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			－		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			－		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	○リスク計測参照モデル関係経費は、金融検査において、本システムを用いた実効的な検証を行い、その結果、金融機関に対しリスク管理上の問題を指摘して改善を促しており、十分な成果が得られている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	○金融検査手法向上経費は、中小企業の資金調達に役立つパンフレットの作成に使用されている。同パンフレットはウェブサイト上で公表されているほか、説明会において配布されるなどしており、十分に活用されている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－	－	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	○リスク計測参照モデル関係経費については、従前より、システム開発業者の公募により調達の公平性・透明性の確保を図った。本システムについては、金融機関がリスク計測に用いている手法や前提条件とは異なる手法や前提条件を用いて、当局としてリスク量等の計測を行い、金融機関のリスク計測の限界・弱点を明らかにすることに用いている。具体的には、本システムに金融機関がリスク量の計測に用いているデータを入力することにより、金融機関が計測したリスク量の正確性を検証している。 金融検査においては、主要行・地銀を中心に本システムを用いた検証を行い、リスク計測手法や前提条件に問題があることを指摘しており、金融機関においてリスク計測手法の改善に向けた取組みが行われていることから、今後も本システムを使用することが金融検査において必要不可欠であり、26年度も同予算を確保する必要がある。 ○24年度の金融検査手法向上経費については、経費の使用対象を精査し、金融検査評定制度等の翻訳に絞り込むことにより、節減を図った。中小企業等の資金調達等に役立ててもらうための金融検査に関するパンフレット類の作成や、毎年改訂が実施されている検査マニュアルの翻訳を適時適切に実施するため、26年度も、同予算を確保する必要がある。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	○リスク計測参照モデルに係るシステムについては、金融機関のリスク計測の限界・弱点を明らかにするものであり、有効性があるものと認められる。今後についても、必要な予算を確保しつつ、金融行政に資するよう、より有効な活用方法を検討していくことが重要。 ○金融検査手法向上経費については、金融機関や中小企業に検査手法を周知するために必要であり、「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）を踏まえ、翻訳の作成対象範囲拡大等を検討する必要がある。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	○リスク計測参照モデル関係経費については、本モデルに係るシステムを引き続き有効活用していく必要があることから、保守・運用経費及び追加機能の導入経費に充てるため、25年度と同額程度の予算を要求する。 ○金融検査手法向上経費については、「日本再興戦略」を踏まえ、翻訳の作成対象範囲拡大等を進めるため、25年度より増額要求する。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	1	平成23年	1	平成24年	1

※平成24年度実績

金融庁(検査局)
23百万円

金融機関の健全性を確保するための制度・環境整備

【随契(公募)・委託】

A. ニューディメンションテクノロジー(株)
11百万円

市場リスク計測参照モデルに係るシステム運用・支援業務

【随契(公募)・委託】

B. ニューディメンションテクノロジー(株)
10百万円

信用リスク計測参照モデルに係るシステム運用・支援業務

【随契】

C. (株)日立システムズ
1百万円

リスク計測参照モデル用PCの購入

【一般競争入札(単価契約)・委託】

D. (株)コンベンションリンケージ
0.2百万円

金融検査評価制度等の翻訳

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. ニューディメンションテクノロジー(株)					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	システムの運用・保守業務	11			
計		11	計		0
B. ニューディメンションテクノロジー(株)					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	システムの運用・保守業務	10			
計		10	計		0
C. (株)日立システムズ					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	リスク計測参照モデル用PCの購入	1			
計		1	計		0
D. (株)コンベンションリンケージ					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	金融検査評定制度等の翻訳	0.2			
計		0.2	計		0

支出先上位10者リスト

A.ニューディメンションテクノロジー(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ニューディメンションテクノロジー(株)	システムの運用・保守業務	11	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.ニューディメンションテクノロジー(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ニューディメンションテクノロジー(株)	システムの運用・保守業務	10	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.株式会社システムズ

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社システムズ	リスク計測参照モデル用PCの購入	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.株式会社コンベンションリンケージ

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社コンベンションリンケージ	金融検査評定制度等の翻訳	0.2	3	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					